



地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所

農業大学校

# Campus Guide 2027

総合課程・短期実践課程  
学生募集案内



地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所

農業大学校

〒583-0862

大阪府羽曳野市尺度442

Tel : 072-979-7032

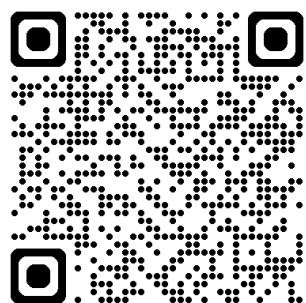
## 【アクセス】

- ・近鉄南大阪線「藤井寺」駅前から近鉄バス（羽曳が丘循環）に乗車「羽曳が丘八丁目」から徒歩5分
- ・近鉄南大阪線「古市」駅からタクシーで約10分
- ・南阪奈道路「羽曳野」出口すぐ



## 【ホームページ】

入学試験に関すること、オープンキャンパス、学校の取組紹介などを掲載しています。大阪農大の最新情報はホームページから。



## 【大阪農大Instagram】

大阪農大では、実習風景や学校生活の様子などをInstagramで発信しています！

大阪農大に興味があればぜひInstagramをチェック！！



# 大阪農業の 未来を育む。

実践的な2年制プログラム

**総合課程** (P3~14)

働きながら学べる1年制プログラム

**短期実践課程** (P15~18)



## 大阪府立環境農林水産総合研究所 理事長 北宅 善昭

大阪農大は、全国でも例のない公設研究所が運営する農業大学校です。第一線で活躍する研究員のもとで、最新の技術成果や高度な農業技術を学ぶコースを設置するなど、その特徴を活かした教育カリキュラムを組んでいます。また、令和7年度からは、全国の農業大学校に先駆けてWeb授業を取り入れており、効率的に学習できる環境も整備しています。大阪農大の卒業生の多くが独立就農や雇用就農を実現しているほか、農業関連企業への就職など、様々な分野で活躍しています。大阪農業の未来を支えていく皆様とお会いできることを、楽しみにしています。



## 農業大学校 校長 岡崎 宏樹

こんにちは！  
私たちは、学生のみなさんが「大阪農大で学んで良かった」と思ってもらえるような、満足度の高い学校運営を心がけています。実習では経験豊富なスタッフを備え、農家が実践している独自の技術を学べるとともに、府内先進農家のもとで行う研修なども充実させています。大阪農業のリアルを学び、農業者や農業技術者を志す方をお待ちしています。ぜひ、大阪農大であなたの「夢」を叶えましょう！

# 実践的なカリキュラム

一年次:府内主力品目の栽培実習

## 600時間以上

二年次:技術力・応用力向上のための専攻実習

## 3コースを設置

(農業技術研鑽コース・農業実践コース・農業参入コース)

### 一 年 次

#### 講義

野菜概論、果樹概論、作物概論、植物病理学、土壤肥料、応用昆虫学、農業機械、就農基礎、大阪農業Ⅰ・Ⅱ など農業の基礎的な知識を学びます。

#### 実習

- ・大阪府内で生産される主要な野菜・果樹品目の施肥設計から栽培、出荷までの一貫を実習
- ・研究所内の直売所で販売を経験
- ・トラクターや管理機、耕うん機など農業機械の操作技能を習得



#### 【野菜実習】

##### ○重点的に実習する品目

千両なす・水なす・トマト・いちご・えだまめ  
ねぎ・たまねぎ・キャベツ・ブロッコリー・軟弱野菜

##### ○そのほか栽培する品目(年度により変わります)

パプリカ・万願寺とうがらし・落花生・じゃがいも  
さつまいも・にんじん・だいこん・そらまめ  
スナッフエンドウ・スイートコーン・きゅうり など



#### 【果樹実習】

##### ○重点的に実習する品目

ぶどう  
(デラウェア・シャインマスカット・紫玉・巨峰  
ピオーネ・藤稔・虹の雫 など)  
いちじく・かんきつ

##### ○そのほか栽培する品目

うめ・かき など

#### 講義

農業経営学、会計・税務、作物栄養学、雑草防除論、農産加工、マーケティング論、施設園芸概論、スマート農業概論、環境保全型農業 など、より専門的な知識を学びます。

#### 専攻実習



#### 【農業技術研鑽コース】

- ・最先端の研究開発を行っている研究員のもとで、より専門的な知識習得や実践的研修を行います。

##### ○令和7年度専攻分野例(年度により変わります)

野菜接ぎ木技術研究、野菜育種、生食用ぶどう栽培技術研究、  
ワイン用ぶどう栽培技術研究、病虫害防除技術研究 など



#### 【農業実践コース(野菜・果樹)】

- ・就農をイメージし、年間を通じ、担当ほ場の栽培管理を任せます。卒論では、自身が設定した課題解決に向けて、学生自ら栽培を行うことで、より実践的な農業技術と管理能力を身に付けます。

##### ○令和7年度研究例

【野菜】水なす長期栽培技術研究、ミニトマト収量向上技術研究  
【果樹】ぶどうの着色・食味向上研究、いちじく密植栽培研究



#### 【農業参入コース】

- ・就農希望地に近い農家のもとで長期の実習を行い、即戦力となる技術の習得と、地域の主要農家との信頼関係を構築し、卒業後の速やかな就農につなげます。

##### ○令和7年度参入実績

ぶどう(河内長野市) いちご(和泉市) 軟弱野菜(岸和田市)

# 先進授業と学校生活

全国の農業大学校で初

# Web授業化

大阪の農業を知る

# 特別授業・農家実習

## Web授業の導入

一年次の授業の大半と、二年次の授業の一部をWebで実施します。  
通学時間中、心と疑問に思ったとき、長期休暇中など「いつでも」  
学校にいる時はもちろん、自宅にいる時、通学中など「どこでも」  
忘れたこと、苦手なこと、より理解を深めたいことを「何度でも」  
自らが勉強したいタイミングで学びを深めることができます。  
多くの学生がWebを上手に活用しており、時間を有効に利用することで  
自己研鑽活動やスキルアップに励んでおり、大変好評です。



Web授業風景

## 様々な特別授業

農家を支援する大阪府「農の普及課」（普及指導員）による府内各地域の農業に関する授業や「大阪府中央卸売市場」の職員による物流や取引の話のほか、府内先進農家による経営の紹介、研究員による最新技術の解説など、様々な視点から農業に関する知見を深める特別授業も行います。



農家の経営について（先進農家）



害虫の同定方法について（研究員）



農産物の物流について（市場職員）

## リアルを学ぶ農家実習

一年次に延べ5日間、府内先進農家のもとで、農業の実際を体験し、栽培技術のほか、経営者の考え方、心構えを学びます。  
学校では学ぶことが難しい、「農家ならではの」技術や考え方を学び、将来につなげます。  
毎年、農家実習を通じて雇用就農先を見つけています。



いちご農家での実習



きくな（しゅんぎく）農家での実習

## 楽しい学校行事



スポーツ大会（5月）  
東海・近畿地区の農業大学校とスポーツを通して交流します。  
練習でとても仲良くなります！



校外学習（10月）  
近隣府県の先進農家や直売所などへ視察に行きます。  
楽しみながら勉強します！



農業祭（11月）  
学生が栽培した農産物を販売します。  
令和7年度は500人以上の方に  
お越しいただきました！

# CAMPUS LIFE

## 学校生活

大阪農大には10代から50代まで幅広い世代の学生が、年齢や経験の違いを越えて、目標に向かって学んでいます。

2年間の学生生活では、さまざまな実習やイベント、地域と関わる活動などに取り組み、仲間と協力しながら学びを深めます。

こうした経験を通じて交流が広がり、学生同士の親交も一層深まっています。



### 農業祭

毎年、11月中旬に農業祭を開催しています。催しの内容は学生が中心となって企画し、販売する農産物は、は種から収穫まで栽培管理を行います。当日は会場設営、商品の説明・接客などの運営も学生が行い、日頃の学びを実践する機会となっています。令和7年度は、野菜の収穫体験ができるコーナーがあり、特に小さいお子様を中心に大盛況でした。地域住民の方とも直接交流し、成果を実感できる農業祭。「学校生活の中でも特に記憶に残るイベント」として、学生から大人気の行事です。



### スポーツ大会

毎年5月下旬、東海・近畿地区の農業大学校の学生が集まり、スポーツを通じて交流します。軟式野球やバスケットボールなどの団体競技に加え、卓球・バドミントンといった個人競技も行われます。入学後すぐに練習を始めるため、同級生や先輩、先生と仲良くなるきっかけになります。他府県の学生ともつながりができ、農業や学校の違いなどの話で交流が深まるのも魅力です。宿泊を伴うイベントであり、大会後は学生同士の親睦がさらに深まります。

### 校外学習

他府県の先進農家から直接学ぶ校外学習は、プロの技術や経営に接し、理解をより深める機会となっています。

学生全員が参加する行事ですので、これまであまり話をしなかった先輩・後輩と交流するきっかけにもなります。

バスでの移動中や昼食時の会話も自然と弾み、学年を越えて親交を深められる一日です。

(令和7年度視察先：和歌山県)

スマート農業を実践する農家、直売所



### 農家訪問

希望する学生には、府内農家を訪問する機会を設けています。令和7年度は、富田林市「なす・きゅうり」農家羽曳野市「いちじく」農家を訪問しました。

限られた人数ならではの距離感で、栽培管理の工夫や出荷までの流れ、経営の考え方など、授業では学びにくい農家の工夫やノウハウ、ポリシーなどを知る貴重な場となっています。

訪問後も「こんな栽培をしてみたい！」

「あんな経営者をめざしたい！」と盛り上がっています。学びの多い、内容の濃い取組の一つです。



### 開拓クラブ

令和7年度に発足した新しいクラブ活動です。元々は施設内の使われていない雑草や雑木が生い茂っていた土地を文字通り「開拓」し、農産物の栽培を始めたことから名が付けられています。

開拓した畑では、はくさい、にんじん、ブロッコリー、きくな(しゅんぎく)等、自分が栽培したい品目を、自分の責任で栽培することで、普段の実習とは違った緊張感を持ちながら、農業を学んでいます。クラブ員同士助け合って作業をしたり、意見交換をするなど、活動を通じて親睦を深めています。



### マルシェ参加

羽曳野市の農家が実施しているマルシェに、大阪農大として参加しています。実習で栽培した農産物のほか、開拓クラブが栽培したものも販売しています。

より良いマルシェになるよう、先輩農家のブースを参考にしながら、学生同士意見を出し合い、レイアウトや販売方法などを工夫しています。自分たちが栽培した農産物の直接販売を通して、消費者の生の声やニーズを知ることができるとともに、地域の農家と交流できる場でもあります。

### 就農・就職に向けた支援



#### 農業インターンシップ

就農をめざす学生を対象に、現場での農業の実際を知り経験を積むため、先進農家の協力のもと、10日間のインターンシップを受けることができます。農家の管理方法や作業スピードを実際に体験し、就農後のビジョンの具体化に役立てます。また、受入農家との交流を通じてネットワークを築ける点も、インターンシップの大きな強みです。大阪府「農の匠」（指導農業士）や農大OBの先進農家など、多くの受入実績があります。

#### マッチング交流会

雇用を検討している農家と希望する学生との交流会を開催し、卒業後の就農先にめぐり合う機会としています。マッチング後は、実際に現地へ出向いて、経営主との関係を深めます。交流会がきっかけで就農先を決定する学生が多く、大阪農大ならではの取組の一つです。令和7年度は、なす・きゅうり農家、いちご農家、ぶどう農家など、多くの経営主にご参加いただきました。



#### 就農/就職セミナー

【就農セミナー】  
栽培計画・営農計画・青年等就農計画の作成方法を学びます。経営指標の活用やコスト計算など実践的な演習を通じて、就農に必要な知識の習得を支援します。

【就職セミナー】  
企業の探し方やエントリーシートの作成方法を学びます。就農だけでなく、学生自身が望む進路選択ができるよう、関連企業等への就職に向けた支援を行います。

※無料職業紹介事業に基づき、府内外の農家・農業関連企業などの求人紹介も行っています。  
【令和7年度求人掲載実績】  
正社員：法人38社（うち農業法人23社）、府内農家6件 アルバイト：府内農家5件

「農家になる」には、あこがれや夢といったイメージを具体化する必要があります。どこで、どんな品目を、どれくらい、どのように栽培し販売するのか、自営するのか、雇用されるのか多くの選択肢から決めるのはあなた自身です。就職も、JA、農薬・農機具・資材関係のメーカー、流通、小売業など、農業関連企業は多数あります。大阪農大では、日々の学びの中で自身に合った職業・進路を見つけられるよう、幅広い視野から就職支援、進路選択の支援を行っています。

### 在学中に取得可能な資格

大型特殊免許（農耕車）、土壌医検定（1～3級）、日本農業技術検定（1～3級）、毒劇物取扱者  
危険物取扱責任者、大阪府農薬管理指導士

### 卒業生の進路

|          | 令和4年卒 | 令和5年卒 | 令和6年卒 | 令和7年卒 | 令和8年卒 |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 新規就農     | 1     | 3     | 2     | 7     | 5     |
| 雇用就農     | 9     | 5     | 5     | 7     | 2     |
| 就職       | 5     | 6     | 5     | 3     | 7     |
| その他（進学等） | 3     | 0     | 2     | 1     | 2     |

#### 主な就農・就職先（H29～R8年 実績）

##### 新規就農

ぶどう（貝塚市・太子町）、野菜全般（堺市・富田林市）、水なす（和泉市、岸和田市）、えだまめ（八尾市）  
醸造用ぶどう（羽曳野市）、水稻（東大阪市） 等

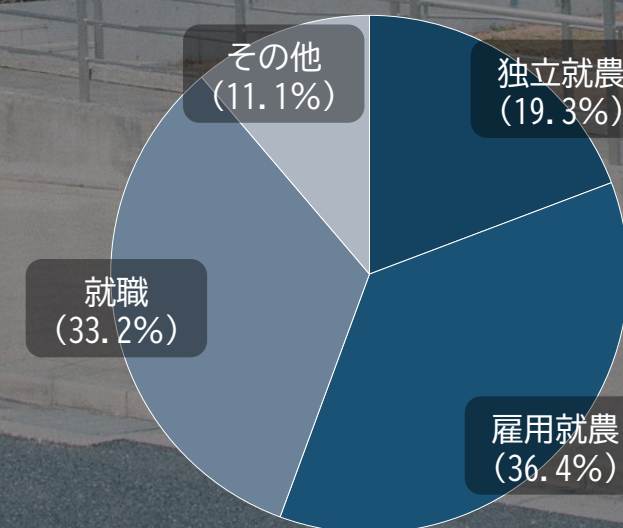
##### 雇用就農

各種野菜（能勢町・枚方市）、水なす（貝塚市・岸和田市）、トマト（和泉市）、いちじく（羽曳野市）  
花き（泉南市）、ぶどう（柏原市）、水稻（交野市）、いちご（京都府） 等

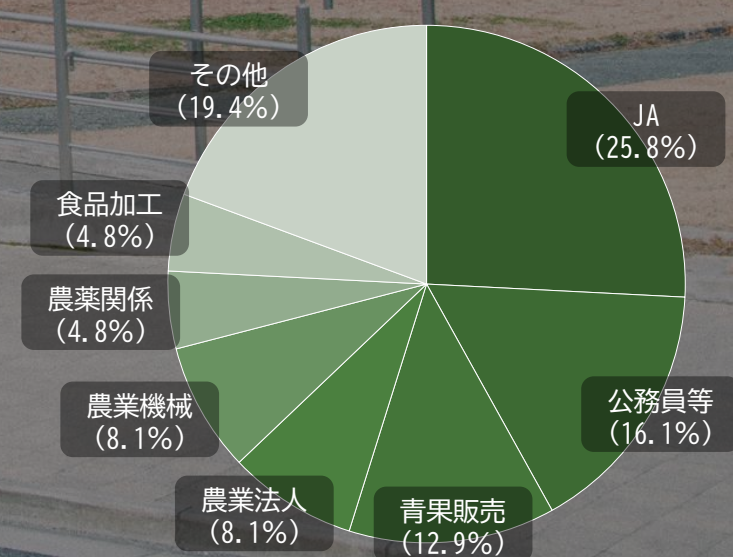
##### 就職（農業関連企業）

○JAグループ JAたかつき、JA大阪中河内、JA大阪市、JA大阪南、JAいずみの、JA大阪泉州  
○その他企業 （株）ワールドインテック、（株）堺ファーム、（株）かんでんエルハート、（株）万果  
（株）東海近畿クボタ、（地独）大阪府立環境農林水産総合研究所、大阪府 等（順不同）

#### 過去10年間の進路先（H29～R8）



#### 過去10年間の就職先（H29～R8）



# 卒業生からのメッセージ



## 川崎 佑子さん (平成26年卒/雇用就農→独立就農)

在学時に研修で出会った農業者のところで雇用就農しました。あるとき、近隣の方から農地を使わないかと声をかけてもらい、独立就農することを決めました。今は羽曳野市でいちじくを中心に多品目の野菜を生産しつつ、栽培ボランティアや援農など、様々な形で人が集う農園を目指して営農を続けています。私の活動に賛同してくれるスタッフ、地域の農家、消費者の方など沢山の方と交流しながら農業ができてることがとても楽しく、そしてやりがいも感じます。大阪農大から農業を盛り上げる仲間がどんどん増えてほしいです。



## 南 孝信さん (平成27年卒/雇用就農→独立就農)

農業がしたいと思い、大阪農大へ入学しました。今は岸和田市で泉州水なすやきゅうり、にんじん、いちごなどを栽培しています。農業に関する勉強をしてこなかったのが、わからないことばかりでしたが、先生がとても親身にいろいろ教えてくれたことが印象に残っており、独立就農した今でも、当時の教科書を読みながら栽培管理の改善方法を考えたりしています。大阪農大の学生は、これから大阪の、そして日本の農業を担う大切なプレイヤーになっていくと思います。就農・就職関係なく、農業に携わっていただき、僕たち農業者と一緒に、日本の農業を盛り上げていてもらいたいです！

## 田中 麻綾さん (令和3年卒/雇用就農→独立就農)

もともと他産業に従事していましたが、憧れがあった農業への夢を実現したいと思い、入学しました。在学時はぶどう栽培と高齢者の生きがいをテーマに研究を行い、全国農業大学校プロジェクト発表会で最優秀賞をいただきました。卒業後、農家のもとで雇用就農中に河南町で農地が見つかり、独立していちご栽培を行っています。大きな決断で大阪農大に入学しましたが、農大で学んだことを活かし、将来的には農業と福祉を掛け合わせた、「農福連携」に取り組んでいきたいと考えています。まずはチャレンジしてみることが大事だと思います！



## 岡 大智さん (令和6年卒/独立就農)

親族が農業を営んでおり、昔から農業に少し関心がありました。大学では農学部に進学し、一度は一般企業に就職しましたが、農業への道を諦めることができず、大阪農大に入学しました。在学中は貝塚市の農家のもとで研修を受け、卒業後は和泉市で独立就農し、水なすときくな(しゅんぎく)を栽培しています。大阪農大に入学して初めて知ったことも多く、農家のリアルな現場を見ることができたのも、印象に残っています。数ある品目の中から、大阪農大で学んだ水なすを選んでよかったです。皆さんも、ぜひ大阪農大に入学してみてください。



## 寺前 俊宗さん (令和7年卒/雇用就農(和泉市))

高校時から農業を学んでおり、将来農業を自分の仕事にしたいと思い、大阪農大に入学することを決めました。2年生の時に研究員の方と一緒に水なすの接ぎ木技術を研究し、すごく実践的な技術を学ぶことができたと思います。卒業後は農大から紹介してもらった農家のもとで雇用就農することになりましたが、就農先農家の西川さんのご支援もあり、令和9年4月から、大阪狭山市で独立就農する予定です。農業がしたいという想いを実現するために、大阪農大に入学して本当によかったなと感じます。ぜひ皆さんも、大阪農大で自分の夢を実現してください！



## 越田 奈菜さん (令和7年卒/雇用就農(羽曳野市))

農業を始めたいと思い、大阪農大に入学しました。大阪農大に入学したことで、いろいろな農家の話が聞けましたし、実習でも農家が実践している技術などを学ぶことができたので、幅広い知識や技術を身に付けることができたと感じます。人とのつながりができたことや、「大阪で農業をやる意味」を学べたことも、印象に残っています。実習中からも楽しく農業を学ぶことができ、就農した今でも、毎日農業は楽しいと感じています。雇用先の農園の力になれるように、頑張っていきたいです。少しでも農業に興味がある方は、ぜひ入学してほしいと思います。

## 立石 逸規さん (令和2年卒/就職(JA大阪南))

農業に携わる仕事がしたいと思い、大阪農大に入学しました。農業を学ぶ中で、農家を支援する立場で仕事がしたいと感じ、農協で働くことを決めました。いまは、南河内地域に広がるなす・きゅうりの産地の支援や、GI(地理的表示)に認証された富田林海老芋の販売などを主な業務として行っています。勉強もよかったですが、スポーツ大会などのイベントで、他府県の農大生と繋がりができ、自分の視野を広げることができたのもとても良い経験だったなと思います。大阪農大、めっちゃ楽しいです！！



## 中川 美空さん (令和7年卒/就職(ハーベストの丘【(株)堺ファーム】))

中学生のころから漠然と農業に興味があり、高校でもその想いが変わらなかったのが、大阪農大への入学を決めました。特に直売所実習で、消費者の方と直接コミュニケーションを取る機会が多く、いろいろな方が農業に触れる体験農園などで働きたいという気持ちが強くなりました。現在は、堺市の「堺・緑のミュージアム ハーベストの丘」で施設内の管理のほか、野菜・果樹収穫体験の企画運営など、自分がやりたかったことを仕事にすることができ、毎日やりがいを感じながら、楽しく働いています。ぜひ、大阪農大で、農業を学んでみてください。



# 必要経費

|                                                                                                                                          |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| （１）養成料　年額 <b>１４６，６００円</b> （２期分納）（※令和８年度の実績です。養成料は改定されることがあります。）<br>※本校は学校教育法に基づく学校ではありません。通学証明などで一部学生割引は適用されます。<br>また、在留資格の「留学」には該当しません。 |
| （２）その他経費　一年次　約 <b>１６５，０００円</b> 二年次　約 <b>１４５，０００円</b><br>※教科書代、実習服、農家実習費、校外学習参加費、教育後援会費、傷害保険料など                                           |

# 修学支援

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| （１）独自修学支援制度<br>大阪農大には、養成料を減免する独自の修学支援制度があります。<br>【対象者】次の条件にすべて合致する方　※「高等教育の修学支援新制度」に準ずる<br>①国籍・在留資格等（日本国籍を有する者等）<br>②進学するまでの期間等（高校卒業後２年以内等）<br>③学業成績等（高校時評定３．５以上または入学試験の成績上位１／２以上等）<br>【内容】家計の経済状況に応じて、養成料の「全額」もしくは「２／３」もしくは「１／３」免除                                                                                                                                                                                                                  |
| （２）就農準備資金（新規就農者育成総合対策）<br>卒業後に就農することを条件に、本校の修学中に資金の交付を受けられる国の制度です。<br>ただし、大阪府の予算措置状況によっては、交付を受けられない場合があります。<br>（詳しくはお問い合わせください。）<br>（参考）令和８年度募集内容（変更される場合があります。）<br>【交付対象者】　　就農予定時に４９歳以下の者<br>【交付額】　　　　１３．７５万円／月（年間１６５万円）を最長２年間<br>【主な交付要件】　研修終了後、独立自営就農※１、雇用就農※２又は親元就農※３すること<br>以下を満たさない場合、返還となります。<br>※１※２　卒業後、１年以内に就農すること。<br>※１　　　就農後５年以内に認定新規就農者又は認定農業者になること<br>※３　　　就農後５年以内に経営を継承すること（法人の場合は共同経営者になること）。<br>ただし、５年以内に経営継承等ができない場合は、独立自営就農すること。 |

# 受験案内

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【募集定員】 <b>２０名（推薦入学と一般入学の合計）</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 【受験資格】<br>○推薦入学（以下のすべての要件を満たしている者）<br>・卒業後、農業者または農業技術者として従事する見込みのある者<br>・学業成績に優れ※、令和９年３月に高等学校卒業見込みの者<br>※調査書の全体の評点が５段階で平均３．５以上<br>・在学高等学校長の推薦書が得られる者<br><br>○一般入学（以下のすべての要件を満たしている者）<br>・学校教育法（昭和２２年法律第２６号）による高等学校を、令和９年３月に卒業見込みの者<br>もしくは高等学校卒業生、または高等学校を卒業した者と同等の学力があると理事長が<br>認めた者<br>・卒業後、大阪府内において農業に従事し、または農業技術者として従事する志のある者 |

# 入学試験等

|              | 推薦入学                                                                                                                                                          | 一般入学                                                                                                                                                                                                                                       |                            |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|
|              |                                                                                                                                                               | 一次募集                                                                                                                                                                                                                                       | 二次募集<br>※一次募集で定員に達しない場合は実施 |
| 願書受付期間       | 令和8年9月24日（木）<br>～10月13日（火）                                                                                                                                    | 令和8年11月9日（月）<br>～11月24日（火）                                                                                                                                                                                                                 | 令和9年2月8日（月）<br>～2月15日（月）   |
| 出願書類         | 1. 入学願書<br>2. 履歴書<br>（写真貼付：裏面に氏名を記入）<br>3. 調査書（高等学校長）<br>4. 推薦書（高等学校長）<br>5. 受験票送付用切手（110円）                                                                   | 令和9年3月高等学校卒業予定者<br>1. 入学願書<br>2. 履歴書（写真貼付：裏面に氏名を記入）<br>3. 調査書（高等学校長）<br>4. 受験票送付用切手（110円）<br><br>令和8年3月以前の高等学校等卒業生<br>1. 入学願書<br>2. 履歴書（写真貼付：裏面に氏名を記入）<br>3. 卒業証明書（最終学校長）<br>姓名と異なる場合は、そのことを証する戸籍抄本の<br>写し等を提出してください。<br>4. 受験票送付用切手（110円） |                            |
| 出願方法         | 必要書類を農業大学校（〒583-0862 羽曳野市尺度442）へ簡易書留で郵送<br>※願書受付期間内に必着です。ご注意ください。（持参不可）                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                            |                            |
| 試験期日         | 令和8年10月23日（金）                                                                                                                                                 | 令和8年12月9日（水）                                                                                                                                                                                                                               | 令和9年2月19日（金）               |
| 試験場所         | （地独）大阪府立環境農林水産総合研究所                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                            |                            |
| 試験科目<br>試験時間 | 10:20～ 受付<br>10:30～10:40 注意事項の説明<br>10:40～11:10 基礎数学（※）<br>11:20～12:00 作文<br><br>（昼休憩）<br><br>13:10～ 面接<br><br>※基礎数学は農業に必要な希釈濃度の計算、面積計算、植付本数を調べる計算、消費税計算問題とする | 9:00～ 受付<br>9:10～9:20 注意事項等の説明<br>9:20～10:10 必須：国語総合（古典除く）<br>10:20～11:10 必須：数学Ⅰ（基礎数学問題含む）<br>11:20～12:10 選択：「理科（生物、化学基礎）」<br>「農業と環境」から1科目<br><br>（昼休憩）<br><br>13:10～ 面接                                                                   |                            |
| 合格発表         | 令和8年10月30日（金）                                                                                                                                                 | 令和8年12月18日（金）                                                                                                                                                                                                                              | 令和9年2月25日（木）               |
| 発表方法         | （地独）大阪府立環境農林水産総合研究所のホームページに合格者の受験番号を掲載（午前10時）                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                            |                            |

|                                                                                                                                                                 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【注意点１】入学願書、履歴書は農業大学校指定用紙を使用してください。<br>指定用紙は農業大学校、大阪府農政室、府内の大阪府各農と緑の総合事務所農の普及課で入手するか、農業大学校のホームページからダウンロードして使用してください。                                             |
| 【注意点２】学校が指定する傷害保険等への加入が必要です。                                                                                                                                    |
| 【試験結果の開示について】<br>本人に限り、口頭による得点の開示請求ができます。開示を希望される方は次により申し出てください。<br>なお、電話による照会は一切受け付けません。<br>①期間：合格発表日から１か月以内　②場所：（地独）大阪府立環境農林水産総合研究所　農業大学校<br>③方法：口頭による　④内容：得点 |



# 働きながら就農をめざす

学生のライフスタイルに合わせた実習体系  
**Web授業と週一回の実習**

## 短期実践課程の特徴

- ・令和7年度から新設した一年制の実習で、就農に意欲的な働く世代、農業法人等の職員を対象に働きながらも学びやすい教育体制を整備しています。
- ・野菜コースと果樹コースがあり、ご自身が学びたい内容を選択できます。
- ・農業の基本的な知識はすべてWeb授業で学ぶことができ、いつでもどこでも勉強ができます。
- ・週一回の実習を通じて、栽培技術を学びます。農業用機械（トラクター・耕うん機等）の操作実習も行います。
- ・農業教育だけでなく、就農に向けた相談など、関係機関と連携し、様々な支援を行います。

## 実習スケジュール（令和7年度）

|    | 4月                    | 9月 | 3月 |
|----|-----------------------|----|----|
| 野菜 | 水なす・千両なす・トマト（4～7月）    |    |    |
|    | 軟弱野菜・キャベツ・ブロッコリー（～3月） |    |    |
|    | いちご（5～3月）             |    |    |
|    | たまねぎ（9～3月）            |    |    |
|    | ねぎ・サニーレタス（8～3月）       |    |    |
|    | えだまめ・黒枝豆（4～11月）       |    |    |



トマト栽培実習



キャベツ栽培実習



農業機械実習

|    | 4月                          | 9月 | 3月           |
|----|-----------------------------|----|--------------|
| 果樹 | ぶどう 新梢の誘引、花穂整形、ジベレリン処理、摘粒 等 |    | ぶどう 収穫（7月～）  |
|    | みかん 摘果 など                   |    | みかん 収穫（11月～） |
|    | いちじく 芽かき など                 |    | いちじく 収穫（9月～） |
|    | 柿 摘果 など                     |    | 柿 収穫（10月～）   |
|    | 3月まで各種果樹剪定等                 |    |              |



ぶどう収穫実習



柿収穫実習



いちじく剪定実習

# 短期実践課程の概要

|                 |                                                                                                                                                                                  |
|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 履修期間            | 【令和8年12月入学生】令和8（2026）年12月から、令和9（2027）年11月まで<br>【令和9年4月入学生】令和9（2027）年4月から、令和10（2028）年3月まで                                                                                         |
| 養成料             | <b>年額86,000円</b><br>※そのほか、教科書、傷害保険、実習用具など60,000円程の費用が必要です                                                                                                                        |
| 授業科目<br>（Web授業） | 就農基礎、野菜概論、果樹概論、作物概論、土壌肥料、応用昆虫、植物病理<br>環境保全型農業、農業学、専門講義                                                                                                                           |
| 実習日             | 原則、 <b>木曜日の午後</b> に農大ほ場での実習<br>季節により、午前中に実習を行う時期もあります。                                                                                                                           |
| 実習の詳細           | <b>【野菜コース】年32回</b><br>実習品目：水なす、トマト、いちご、軟弱野菜、えだまめ、ねぎ等 大阪の主要品目<br><br><b>【果樹コース】年30回</b><br>実習品目：ぶどう、かんきつ、いちじく など<br><br>※栽培技術のほか、農業用機械の操作やメンテナンス、土壌消毒、雑草防除など<br>営農に必要な技術も実習を行います。 |
| 編入制度            | 本課程終了後、 <b>総合課程（2年次）への編入</b> が可能です                                                                                                                                               |

【注意事項】  
本校は学校教育法に基づく学校ではなく、**短期実践課程は通学証明などの学生割引は適用されません。**  
また、在留資格の「留学」には該当しません。  
短期実践課程は**就農準備資金（P.13参照）の対象外**となります。（国が定める研修時間の要件を満たしていないため。）

## 卒業生からのメッセージ



**柿本 美優さん（野菜コース卒）**  
元々農業に携わりたいという想いがあり、大阪農大には働きながら通える  
社会人向けのコースがあったので、入学を決意しました。  
Web授業で好きな時間に学べることは、とても自分に合っていると思います。  
講師の知識が豊富で、疑問に思ったことをすぐに回答してくれたのは、  
とても印象に残っています。  
悩んでいる方は、ぜひ大阪農大の短期実践課程へご入学ください！

**大岩 一毅さん（果樹コース卒）**  
果樹栽培に興味を持ち、農業ボランティアや援農に参加していましたが、  
さらに自分の知識を深め、体系的な実習を受けたいという想いのもと、大阪農大  
の短期実践課程へ入学を決めました。  
実習中は農家が実践する技術も含めた説明があり、とても参考になりました。  
栽培計画作成や就農への流れなど、いろいろな相談にも乗ってもらうことができ、  
自身が就農するにあたってのビジョンが明確になったと感じます。





**奥平 健正さん（果樹コース卒【法人推薦】“（社福）北摂杉の子会”）**  
所属している法人にて、障がい者の方の社会参画やお仕事の創出を目指し、  
レモンの栽培を行っており、果樹栽培の知識や技術を深く学びたいと思い、  
法人推薦の枠で入学しました。  
短期実践課程で学んだことを活かし、今後法人としてさらに障がい者の方が  
活躍できる場を、農業という視点から広げていきたいと考えています。  
ぜひ、短期実践課程で農業への第一歩を踏み出してもらえればと思います。

# 受験案内

【募集定員】 12月入学・4月入学合わせて野菜コース：25名 果樹コース：20名  
【個人出願】  
・大阪府内において農業に従事、または農業技術者として従事する志のある者で、学校教育法（昭和22年  
法律第26号）による、高等学校を卒業した者または理事長がこれと同等以上の学力を有すると認めた  
もので、入学年（令和8年もしくは令和9年）4月1日現在で20歳から60歳までの者  
  
【法人等による推薦】  
・大阪府内の農業参入法人もしくは同参入を検討する法人の職員（年齢、学歴は問わない）

|        | 令和8年12月入学生選考                                                                                                                       | 令和9年4月入学生選考    |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 願書受付期間 | 令和8年8月10日（月）～9月7日（月）                                                                                                               | 後日ホームページにて詳細発表 |
| 出願書類   | 個人推薦<br>①入学願書<br>②履歴書（写真貼付：裏面に氏名を記入）<br>③卒業証明書（最終学校長）<br><br>法人推薦<br>①入学願書<br>②履歴書（写真貼付：裏面に氏名を記入）<br>③法人等代表者の推薦書<br>④所属する法人の定款（写し） |                |
| 出願方法   | 1. ホームページのWebフォームより必要事項を登録（氏名・生年月日・メールアドレス）<br>2. 必要書類を農業大学校（〒583-0862 羽曳野市尺度442）へ <b>簡易書留で郵送</b><br>※願書受付期間内に必着です。ご注意ください。（持参不可）  |                |
| 選考方法   | 入学願書の内容審査及び面接評価                                                                                                                    |                |
| 試験期日   | 令和8年9月29日（火）                                                                                                                       | 後日ホームページにて詳細発表 |
| 試験場所   | （地独）大阪府立環境農林水産総合研究所                                                                                                                |                |
| 試験時間   | 出願後、送信する受験票に記載                                                                                                                     |                |
| 合格発表   | 令和8年10月7日（水）                                                                                                                       | 後日ホームページにて詳細発表 |
| 発表方法   | （地独）大阪府立環境農林水産総合研究所のホームページに合格者の受験番号を掲載<br>（午前10時）                                                                                  |                |

【注意点】  
**○Webフォームの入力だけでは出願は完了しません。**  
必要書類は必ず郵送してください。  
  
**○入学願書、履歴書は農業大学校指定の様式を使用してください。**  
指定用紙は農業大学校、大阪府農政室、府内の大阪府各農と緑の総合事務所農の普及課で入手するか、  
農業大学校のホームページからダウンロードして使用してください。  
  
**○受験票はWebフォームに登録されたメールアドレスあてに送付します。**  
  
**○学校が指定する傷害保険等への加入が必要です。**

# Open Campus

## オープンキャンパス

2年制「総合課程」と1年制「短期実践課程」のオープンキャンパスを開催します。

「総合課程」のオープンキャンパスは、実習体験や学生との懇談会を行い、リアルな大阪農大を知ることができます。

「短期実践課程」のオープンキャンパスは、働きながらも参加できるよう、オンラインで開催します。

### 総合課程 オープンキャンパス

【開催日時】

8月1日（土曜日） 10時から13時まで（受付 9時30分から）

11月7日（土曜日） 10時から13時まで（受付 9時30分から）

【募集定員】20名（先着順・完全予約制）

※付き添いの方は一人まで同伴いただけます。ただし、実習体験・懇談会には参加できません。  
実習体験・懇談会に参加したい場合は、同伴ではなく、別途お申込みをお願いします。

【持ち物】汚れても大丈夫な服装、帽子、手袋、水筒、タオル など

※特に8月開催時は気温も高いため、必ず各自で熱中症対策を行ってください。

【申込方法】インターネットからの申し込みが必要です。

申込方法は、大阪農大ホームページにてご案内します。

### 短期実践課程 オンラインオープンキャンパス

【開催日時】

7月3日（金曜日） 19時から20時まで（受付 18時30分から）

8月28日（金曜日） 19時から20時まで（受付 18時30分から）

【開催方式】オンライン開催（Zoom利用予定）

【募集定員】30名（先着順・完全予約制）

【申込方法】インターネットからの申し込みが必要です。

申込方法は、大阪農大ホームページにてご案内します。

【その他】オンラインオープンキャンパスでは、現地見学はありません。

学校見学は随時受け付けています。詳しくは農業大学校までお問い合わせください。

### 当日のプログラム（変更する場合があります。）

| 時間          | 内容                        |
|-------------|---------------------------|
| 9:30～10:00  | 受付                        |
| 10:00       | 開始                        |
| 10:00～10:40 | 大阪農大の概要説明、2年生による学校生活などの紹介 |
| 10:40～11:40 | 農大ほ場見学、実習体験 など            |
| 11:40～12:00 | 在校生との懇談会                  |
| 12:00～13:00 | 入学試験について、質疑応答 など          |
| 13:00       | 終了                        |

学校紹介や実習体験を通じて、大阪農大の学校生活を体験しよう！

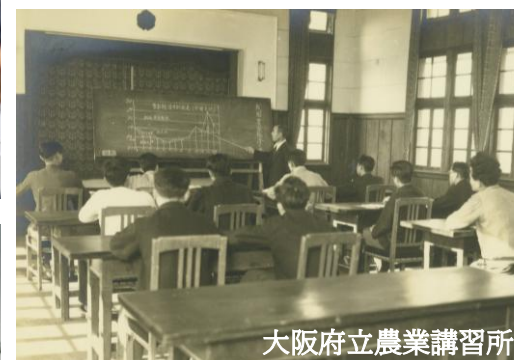
オープンキャンパスで、リアルな大阪農大の雰囲気を体験してください！  
皆さんが抱いている農業への夢を、大阪農大で叶えてみませんか？  
当日お会いできること、楽しみにしています！

### 当日のプログラム（変更する場合があります。）

| 時間          | 内容                                                                         |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------|
| 18:30～19:00 | 受付                                                                         |
| 19:00       | 開始                                                                         |
| 19:00～19:15 | 短期実践課程 概要説明<br>（カリキュラム、働きながら学ぶポイント、卒業後の進路 など）                              |
| 19:15～19:30 | 動画視聴①：学校紹介、実習風景 など<br>（野菜コース・果樹コースの紹介、ほ場紹介 など）                             |
| 19:30～19:40 | 動画視聴②：在校生、卒業生のインタビュー動画<br>（在校生・卒業生ともに野菜コース・果樹コース計4名の<br>インタビュー動画のとなる予定です。） |
| 19:40～20:00 | 質疑応答                                                                       |
| 20:00       | 終了<br>※終了後、アンケートを実施しますので、ご協力をお願いします。                                       |



大阪農大は2020年に、創立100周年を迎えました。



大阪府立農業講習所



大阪府立藍野農場



大阪府農林技術センター

## 大阪農大の沿革

1920 (大正9年)      1934 (昭和9年)      1949 (昭和24年)      1950 (昭和25年)      1963 (昭和38年)      1982 (昭和57年)      2007 (平成19年)      2020 (令和2年)

大阪府立農事試験場 農事練習生規定制定  
(技術者養成の開始)

大阪府立農場講習藍野塾が設立(自営者養成の開始)

大阪府立農業講習所(2年制)が発足

大阪府立藍野農場が発足

大阪府立農業講習所と大阪府立藍野農場が統合  
大阪府農林技術センターが発足

大阪府農林技術センター農業大学校が発足

大阪府環境農林水産総合研究所農業大学校が発足  
(2012年に地方独立行政法人へ)

創立100周年を迎える。



現在のおおさか環農水研



授業風景



野菜実習ほ場

大阪農大では幅広い視野から農業を考え、技術力と判断力、応用力を身に付けた農業経営者及び農業技術者を育成するため、農業普及指導員や研究員、ベテラン講師陣により科学的かつ実践的な教育を行っています。これまで、約2,000名の卒業生を輩出し、大阪農業の中核を担う農業経営者や農業技術者として活躍しています。